



新年のご挨拶

(公社) 足立法人会会長
鈴木 又右衛門

新年あけましておめでとうございます。
皆様、本年もますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

旧年中は足立税務署佐伯署長様をはじめ税務署幹部の皆様より格別ご指導・ご協力を賜り、会員の皆様のお力によりたくさんの行事が実施できましたことを厚く御礼申し上げます。

具体的には、あだち区民まつり A-Festa2024への参加、女性部会による第14回税に関する絵はがきコンクール、各支部における研修見学会（バス研）や税務研修会、一般の方を含め多数ご参加いただいた「税を考える週間」特別講演会など多彩な活動を行い大きな成果を上げることができました。

新年を迎えるにあたり、私たち法人会は、皆様のご協力とご支援のもと、さらなる発展を目指してまいります。今年も共に成長し、地域社会に貢献できるよう努めてまいります。

2025年も、会員の皆様のビジネスと地域社会に貢献できるよう、支部活動をはじめとして多岐にわたる活動とサポートを提供してまいります。また、皆様と共に成長し、繁栄を実現するための連携を一層強化していく所存です。

どうぞよろしくお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

足立税務署長
佐伯 祐治

新年明けましておめでとうございます。
令和7年の年頭に当たり、公益社団法人足立法人会の皆様方に、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、鈴木会長をはじめ役員並びに会員の皆様方には、税務行政の円滑な運営につきまして、深い御理解と格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

とりわけ、税を考える週間の関連行事では、「税に関する絵はがきコンクール」、「特別講演会」の開催、あだち区民まつりの出展や「税金クイズ」の実施など積極的に活動していただきました。

このような活動は、適正な申告納税制度の実現や税知識の普及など、税務行政の円滑な運営に欠かすことのできないものです。皆様方の活動に対し心より敬意を表しますとともに、改めて感謝を申し上げます。

さて、国税当局においては、納税者の皆さんの利便性の向上、税務行政全体の効率化や社会全体のDX推進への貢献を図る観点から、税務行政のDXの更なる推進に取り組んでおります。

貴会の皆様方におかれましては、当局の取組について御理解をいただくとともに、法人税のALL e-Taxや年末調整手続の電子化、その他会計・税務のデジタル化を含めた様々な側面からの業務のデジタル化促進に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

また、間もなく令和6年分の確定申告の時期を迎えます。多くの納税者がスマートフォンによる申告書等の作成・送信を行っておりますが、最近では、マイナポータル連携を利用することにより申告に必要な情報が自動入力されるなど、より簡単に申告書作成が可能となる環境整備を図っているところです。引き続きe-Taxやキャッシュレス納付について、従業員の皆様方にも利用を働きかけていただきますようお願い申し上げます。

当署といたしましても、職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き御支援・御協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに当たりまして、新しい年が公益社団法人足立法人会にとりましてますます飛躍の年となりますこと、また、会員の皆様方の御健勝と事業の御繁栄を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

足立都税事務所長
小笠原 裕之

新年明けましておめでとうございます。
公益社団法人足立法人会の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、鈴木会長をはじめ、役員並びに会員の皆様方には、東京都の税務行政の推進に格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

貴会の皆様には、次代を担う児童に対する租税教育の一環である「税に関する絵はがきコンクール」をはじめ、納税意識の高揚に向けた様々な事業に取り組んでいただいております。紙面をお借りいたしまして御礼申し上げます。

昨年、東京では夏日日数が過去最高になりました。猛暑や集中豪雨に象徴される気候変動は急速に進行し、「記録的」という言葉を日常的に耳にするようになりました。また、人口動向に目を転じますと、合計特殊出生率は低下傾向に歯止めがかからず、東京は0.99と初めて「1」を割り込みました。

都では、こうした課題の解決に向けて、明るい未来の東京を切り拓くための新たな羅針盤となる『未来の東京』戦略」を策定し、多岐にわたる施策を実施しております。また、デジタルの力で都政の仕事が大きく転換する「都政の構造改革」にも取り組んでいるところです。

私ども主税局としましては、施策の財源となる都税の適正かつ公平な課税・徴収に努めるとともに、納税者の皆様へのサービスを第一に考え、DXを推進してまいります。とりわけキャッシュレス納税については、利便性だけでなく、社会全体の生産性向上にも繋がることから、引き続き局の最重要課題としてPR活動に取り組んでいきます。

こうした取組を含め、都財政の根幹を支える税務行政の推進は、法人会の皆様方の活動に支えられております。今後ともなお一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、公益社団法人足立法人会の益々のご発展と、役員並びに会員の皆様方のご健勝、事業のご繁栄を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

東京税理士会足立支部
支部長
早津 重一郎

明けましておめでとうございます。公益社団法人足立法人会の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、鈴木会長はじめ役員並びに会員の皆様には、私共東京税理士会足立支部に対しまして深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

振り返りますと、既に新型コロナ騒動も遠い昔の感があり、社会経済活動は活況を呈し、日常を取り戻してきているように思われ、足立支部もかつてのように活発な活動を始めております。

定例となっている月例研修会・決算法人説明会・新設法人説明会では、足立支部会員の税理士が講師となり皆様へ税制についてお伝えしているところですが、令和6年度は通常開催に近い形で実施することが出来ました。

また、去年は法人会の総会に税理士会の役員も出席をし、懇親会へも参加させて頂きました。恒例の女性部会が主催する小学生の「税に関する絵はがきコンクール」では、税理士会支部長賞を選ばせて頂き表彰式へも列席いたしました。児童の皆様方の作品レベルの高さには、毎度のことながら驚嘆しております。

税理士会足立支部では社会貢献活動の一環として租税教育推進を進めており、足立区内の小中学校は西新井支部と共に全校で租税教室を行い、最近では高校、大学、専門学校など高等教育の場でも租税教室を開催する機会が増加しています。

さて、社会経済活動が正常化に向かい緊急融資等の返済も本格化する一方で、とりわけ中小零細企業ではコロナ禍の約3年の影響が甚大で資金繰りが悪化している報道も多く見受けられます。このような状況の中では、中小企業の皆様の一番身近にいる私達税理士にご相談頂き、対策を講じる協力をしていくことが肝要であると思っております。

令和7年も法人会の皆様と共に積極的に活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、公益社団法人足立法人会の益々のご発展と役員並びに会員の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

「税を考える週間」特別講演会 鉄腕ダッシュで有名な木村先生

11月18日（月）日本テレビ系列の番組「ザ！鉄腕！DASH!!」の「ダッシュ海岸」コーナーにレギュラー出演している、海洋環境専門家の木村 尚^{たかし} 氏を講師としてお招きし、「都会の里海・東京湾～美しい海辺を取り戻す環境再生～」をテーマにした今年度の「税を考える週間」特別講演会を浅草ビューホテル3階祥雲の間にて開催しました。

ダッシュ海岸でのお話をはじめとして、木村先生の主な活動である、アマモ場再生活動、干潟の再生、海苔養殖の復活など、東京湾の環境改善や海辺の自然再生の取り組みは、大変興味深いものでした。

また東京湾では発見例がわずか7例というノコギリガザミ、絶滅危惧種のスナヤツメや世界的にも非常に貴重なゴブリンシャークの発見等を写真と共にお話頂いた事は新たな発見のある経験となりました。

ほかにも、川や海の自然環境を再生し、人と多様な生物が共生できる場づくりの為に、我々が日々の暮らしの中で、自然環境を破壊しな



▼講演会の様子

▲木村尚氏

いよう一人一人のSDGsな取り組みが必要不可欠なのだという事を、考える良い機会になったのではないのでしょうか。

最後になりますが、公益事業委員会、青年部会、事務局の皆様におかれましては、今回の講演会開催にあたり大変お忙しい中ご助力頂きましたこと、誠にありがとうございました。

(参加100名 公益事業委員会 副委員長 星井 雅樹)

署長講演会

12月5日（木）足立区勤労福祉会館（綾瀬ブルミエ）第1ホールにて、足立税務署 佐伯 祐治 署長を講師としてお招きし、「暮らしの中の税を考える」というテーマでご講演いただきました。秋田県の横手税務署に赴任されていた頃のご自身の体験談から最新の税制に関する話題まで幅広い内容で大変勉強になりました。



▼講演会の様子

▲佐伯税務署長

～暮らしの中の税を考える～



右から佐伯税務署長、町田副署長、大西統括、松田上席

講演会実施後は、懇談会を開催し、税務署よりご参加いただきました佐伯署長、町田副署長、大西統括、松田上席と意見交換をすることができました。

署の方々との意見交換は中々機会がない貴重な時間かと思っておりますので、今年度ご出席できなかった方はぜひ来年度ご参加いただければと思います。

(参加45名 公益事業委員会 田淵 恵子)

厚生委員会

親睦ボウリング大会

会員相互の親睦を図ることを目的とした厚生委員会主催の親睦ボウリング大会を、10月24日（木）北千住のマルアイボウリングにて開催いたしました。

今年も各レーン白熱したゲームが展開され、大変盛り上がった大会となりました。また初参加の方も多く、ご参加いただきありがとうございました。

(参加23名 厚生委員長 古庄 定夫)



プレー中の様子

◇総合	(敬称略)	HD込2ゲームトータル
優勝	田谷野 雅史	343 (▲20)
準優勝	山澤 和男	341 (▲30)
3位	山澤 昭男	332 (▲10)

♡女性	優勝	準優勝	3位
	山澤 博子	290	

※▲前回優勝、準優勝、3位入賞者へのHD

第43回 チャリティーゴルフ大会 in 内原カントリー倶楽部

11月11日（月）内原カントリー倶楽部にて第43回チャリティーゴルフ大会を実施しました。当日は48名の方に参加していただき、チャリティー対象のホールにて皆さまから募金が寄せられ、総額57,000円になりました。

皆さまからの募金は足立区教育委員会に寄付させていただきます。今年度もご協力いただきありがとうございます。

午前中はくもり空でしたが、午後から一気に天気回復し非常に楽しめた1日となりました。厚生委員会は、会員の福利厚生、健康増進、会員相互の親睦を図れるような機会を提供して参りますので、引き続き皆さまのご支援をお願い致します。

(参加48名 厚生委員長 古庄 定夫)

【団体】	優勝	準優勝	第3位
	第3支部	第8支部	第12支部

▲古庄委員長と第13支部菊地支部長

▼午前中はくもり空でしたが、楽しくプレーしてました！



▲表彰式の様子

【個人】	(敬称略)	優勝	準優勝	第3位
		長谷川 雄一 (46・43・G89・N71.0)	古庄 定夫 (47・51・G98・N71.6)	今井 良典 (45・46・G91・N71.8)

【ベスグロ】	(敬称略)	第1位	第2位	第3位
		斉藤 輝雄 (39・40・G79)	加嶋 義一 (44・38・G82)	広畑 節雄 (43・41・G84)

支部活動報告 研修見学会

第1～6支部 合同 戦艦三笠見学&鎌倉山ローストビーフを堪能

10月22日(火)第1～6支部合同で研修見学会を実施しました。

今年度は、自国の独立を守るための重要な海戦において勇敢に戦い歴史的な勝利を収め「世界の三大記念艦」と呼ばれるようになった戦艦三笠の見学をし、その後、某サイトで星4.5の評価を得ているローストビーフの店鎌倉山本店にて昼食を取りました。

どちらも参加者の満足度も高く、支部の親睦がより深まったと感じる非常に充実した1日を



過ごせたと思います。来年度も実施予定ですので、見学したい場所や食べてみたい場所があれば、お気軽に各支部長に連絡してください!

(参加69名 事務局 越後 鏡)

第8支部 都内で紙幣と証券を学ぶ研修

11月5日(火)第8支部研修見学会を開催いたしました。

今年7月に新紙幣の発行がされたこともあり、国立印刷局東京工場見学会を企画いたしました。人気の為予約も大変で、入場でのセキュ



リティも厳しく硬いイメージでしたが、当日工場説明の方が気さくで明るく楽しい見学ができました。紙幣ができるまでの工程など勉強になりました。

見学の後、昼食を上野の杜 韻松亭にて和食懐石料理いただき、午後から日本橋兜町のJPX東京証券取引所の見学に。この日11月5日から取引時間が15時30分と30分延長となり、取材の方が多かったのが印象に残りました。

都内視察でしたが、普段個人ではなかなか行かない場所ということもあってか総勢18名ご参加頂き、勉強になった良い研修見学会でした。参加いただきました皆様ありがとうございました。

(参加18名 第8支部長 佐藤 信高)

第9支部 キリンビールと筑波ハムの見学ツアー

12月7日(土)第9支部研修見学会を開催いたしました。最初の目的地は、茨城県取手市にあるキリンビール取手工場です。キリンのヒット商品「一番搾り」がどのように製造されているのか、原料の麦やホップを直接手に取りながら楽しく学ぶことができました。見学後の試飲では、いつもより美味しくビールをいただいた気がします。

割烹一の矢で美味しい和食膳をいただいた後は、つくば市へ移動して筑波ハムつくば陣屋の見学に向かいました。ハムやウインナーが加工されている行程を見学した後、こちらでもお楽しみの試食です。出来立てのハムは格別に美味しく、お土産をたくさん買ってしまいました。

最後に、今年オープンしたばかりで大人気の

道の駅常総に立ち寄り、買い物を楽しんでから足立へと帰りました。ご参加いただきありがとうございました。

(参加22名 第9支部長 吉田 誠)



筑波ハムつくば陣屋での集合写真

第10・11支部 歓喜院聖天堂と渋沢栄一生家の見学

10月26日(土)第10・11支部合同研修見学会を開催いたしました。最初の見学先は、埼玉県熊谷市にある日本三大聖天のひとつ妻沼聖天山・歓喜院聖天堂です。地元ガイドさんに本殿の細かい装飾品や彫刻の意味まで詳しく解説していただき大変勉強になりました。



和食処で昼食をいただいた後は、深谷市にある渋沢栄一生家中の家(なかんち)の見学へ向かいました。中の家は日本経済の父と称される渋沢栄一が生まれてから23歳まで過ごした生家で、晩年も深谷へ帰郷した際に滞在していた場所だそうです。主屋の中には渋沢栄一のアンドロイドがあり、映像に合わせて渋沢自身の来歴や経験、思い出話を語るという面白いコーナーがありました。

見学後は近くの道の駅に立ち寄り、名物の深谷ねぎやお土産を買って、足立への帰路へとつきました。ご参加いただきありがとうございました。

(参加39名 第11支部バス研担当幹事 古森 保典)

第12支部 横須賀軍港めぐりと三崎まぐろを満喫

11月27日(水)第12支部バス研修見学会を開催いたしました。まず、横須賀にて湾内に停泊する海上自衛隊や米軍の艦船を海上から見学するYOKOSUKA軍港めぐりを体験しました。配備されたばかりの米軍原子力空母ジョージ・ワシントンをはじめ、イージス艦や潜水艦などを間近で見学する事ができ大変勉強になりました。

続いて、三崎まぐろで有名な三崎港に移動して、本場のまぐろ料理や海産物の買い物を楽しみました。第12支部長としては今回が最後の

バス研修でしたが、大勢の方にご参加をいただき良い思い出となりました。

(参加35名 第12支部長 古庄 定夫)



第13支部 横浜を満喫した一日

10月23日(水)に行われた、日帰りバス研修会は総勢39名で横浜方面へ行きました。



まずは海上保安資料館横浜館を見学し、沈没した工作船の実物を見ながら我が国の周辺海域の現状や海上警備の重要性について学びました。

次に人気のカップヌードルミュージアムの見学後、横浜中華街で美味しいランチを堪能しました。最後は、シーバスに乗船して「みなとみらい地区」を海から見学した後に帰路につきました。今回はコンパクトな移動範囲ではありましたが、参加者の皆さまと実りのある楽しいバス研ができました。ご参加いただきありがとうございました。

(参加39名 第13支部長 菊地 聡)

第22回 あしの芽祭

参加3000人越えの一大イベントに!

今年度の地域文化祭『あしの芽祭』は、開催第22回にして初めて参加人数が3000人を超えました。第十三中学校の教職員・生徒・地域が一体となり“地域一体型の学校経営”を当地域では目指しております。今年は当支部からの参加社も増え、合計7社で盛り上げてくれました。また、法人会ブースとしては、本田組織



法人会ブース



委員長にもご協力いただき、地域の子どもたちに税金クイズとお菓子つかみ取りで租税教育活動を展開いたしました。最後に会員皆様のご協力があったので成功であった事をお伝え申し上げます。

ご参加ご協力いただきありがとうございました。

(税金クイズ参加300名 第13支部長 菊地 聡)

支部会員紹介

㈲ハラダ 代表取締役 原田 慎一

1998年に綾瀬で創業し、2003年に再開発に伴う建て替え工事をきっかけにここ加平に移って事業をしております。インターネットで弊社を検索すると足立区東和の住所がヒットするかもしれませんがその場所は、以前は事務所として、現在はハウスクリーニングや室内リフォームで使用する機材置き場の倉庫として活用しております。

仕事内容は、不動産関係のハウスクリーニングと室内リフォームがメインとなります。本誌前号では法人・個人向けの同業者 第10支部の㈲タカショー（ダスキン保木間）様が特集されておりましたが、弊社は不動産業者から依頼を受け、アパート退去後のクリーニングや室内リフォームを行い、お部屋を綺麗に戻す・より綺麗な状態にする事業を主としています。

ちょっとした余談ですが、アパートの入退去が多い季節と言いますと、新生活に向けた2～3月、年末の12月が印象としては強いかもしれませんが、近年ではその傾向は若干残ってはいるものの、そこまで差がなくなってきたと感じるようになってきました。

弊社の強みとしては、丁寧なハウスクリーニング、室内リフォームは当然ながら、地域密着型で小回りが利く、という点です。ありがたい



社長のデスクから見える位置に飾ってある会社の「心得」と福沢諭吉の「心訓七則」



原田社長(左)と第9支部 吉田支部長(右)

吉田支部長のおすすめポイント

地域密着型の営業を展開しており、特に足立区近隣で不動産経営をしている方は、仕事が早く丁寧で評判が良い㈲ハラダさんにぜひ一度ご連絡・ご相談してみてください！

第9支部

六町1・2・3・4丁目、西加平1・2丁目
加平1・2・3丁目、北加平町ブロック



東和にある倉庫

ことに足立区や葛飾区等近隣のエリアから多くご依頼をいただいていることもあり、スピーディーさも兼ね備えているため、急なご依頼でも対応しやすくなっております。

目標は、より多く、地域の皆さまから愛していただける会社になりたいと強く思っております。そのための1つとして、スタッフを募集しております。「地元で仕事したい」、「地元に貢献したい」という方はもちろん、少しでも気になった方は弊社までご連絡をお願いします！

また、足立区や葛飾区で不動産経営をされている方で、ハウスクリーニングや室内リフォームについてのご相談、ご依頼も順次受付しております。

皆さまからのご連絡、心よりお待ちしております!!

☆ スタッフ大募集中!

㈲ハラダでは、事業拡大のため社員を大募集中です！業界未経験の方ももちろん大歓迎で優しく丁寧に教えます。「地元足立区で働いてみたい」という方はもちろん、「話を聞いてみたい」と少しでも興味がありましたらぜひ一度ご連絡をお願いします！

○ 店舗情報 ○

㈲ハラダ

TEL 03-3606-7394
営業時間 平日、土曜日：9：00～18：00
定休日 日祝
住所 足立区加平1-4-21
※東和3丁目の方は倉庫になりますのでご注意ください。
アクセス 北綾瀬駅から徒歩9分

ちょっとひと駅歩いて健康に!

青井駅から約14分（消費カロリー47kcal）
綾瀬駅から約30分（消費カロリー101kcal）
※男性60歳70kg

足立介護タクシーまごころ㈱

代表取締役 田上 祐治

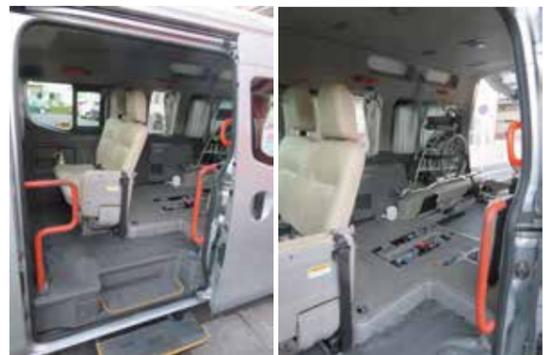
2013年12月に「介護タクシーまごころ」を開業し、その後タクシー台数を増やしていき、2021年6月「足立介護タクシーまごころ㈱」を設立しました。2025年2月にはタクシー台数を6台に増車し、皆さまがよりご利用しやすい環境を整える予定です。

仕事内容は、主に障がいを持たれた方を対象にした介護タクシーで、

- ① 病院への通院、入退院
- ② 区役所等各施設までの送迎
- ③ 普段のお買い物
- ④ 駅や空港への送迎
- ⑤ 冠婚葬祭へのご出席
- ⑥ お正月・お彼岸などのお出かけ等

多岐に渡りご利用いただけます。なお、東京発であれば目的地が他県でも対応可能ですので、お気軽にご相談ください。

弊社のタクシーの特徴として、車内は広く、ストレッチャー（寝台）対応、車いすのまま乗降り可能、ご家族の方も一緒に乗車できるので安心してご利用いただけると思います。タクシーとして重要な「安全で優しく」という意識をスタッフ全員が常に持ちながらお仕事させていただいております。



広々とした介護タクシー 車いす4台乗車可能

吉田支部長のおすすめポイント

起業されてから休みなし、24時間・365日対応で頑張っておられます。心優しい頼れる社長さんです。ぜひお問合せしてみてください！



第9支部 吉田支部長(左)と田上社長(右)

現在の介護タクシー業界についてですが、利用者(お客様)からのニーズに対し、介護タクシーの台数が足りない、という問題があります。足立区内で言うなら60台程度と、高齢者が多い地域にも関わらず他区と比較しても少ないです。この問題の解決の糸口として、もっと若い方にこの業界に参入してもらいたいと強く思います。そのために弊社では介護タクシーに興味がある、将来独立をしてみたい方を募集しております。まずは弊社のスタッフとして働いてノウハウを培って、将来的に羽ばたいてもらえたら私自身嬉しく思います！



ストレッチャー・リクライニング車いす(奥、青色)も完備

酸素ボンベ、痰吸引器装着、介護士同乗等対応しております。まずはご相談を！

☆ サービスについて

障害者手帳割引、各自治体のタクシーチケットのご利用が可能です。

また、お支払いはタクシーチケット、PayPay、クレジットカードのご利用も可能です。

☆ スタッフ大募集中!

足立介護タクシーまごころ㈱では、スタッフ大募集中です！業界未経験の方、将来独立を考えている方も大歓迎ですので、ご興味があればぜひご連絡をお願いします！

○ 店舗情報 ○

足立介護タクシーまごころ㈱

TEL 03-5849-3351 090-7193-7833
FAX 03-3620-0304
※ご予約、お問合せ、お見積りはお電話かFAXどちらでもOK!
営業時間 24時間365日 配車OK!
住所 足立区加平1-17-15
アクセス 北綾瀬駅から徒歩5分

ちょっとひと駅歩いて健康に!

北綾瀬駅から約5分（消費カロリー13kcal）
青井駅から約18分（消費カロリー60kcal）
※男性60歳70kg

和妻師 養老瀧之丞

第5回

THE ART OF MAGIC



和妻師の日常

こんにちは。今回は和妻師養老瀧之丞の日常を中心にお話したいと思います。

【のんびりスタート、でもやることいっぱい的一天】

まずはじめに芸人という職業は朝がゆっくりなものです。なんせ寄席の開場時間が11:30。芸人は自分の出番に間に合えばいいので、所謂出勤時間はお昼過ぎが多いんです。だから起床をゆっくり朝ごはん代わりにコーヒーを飲んで、さあおはよう。そんな感じで僕の一日がスタートします。といってもやることは沢山あります。稽古、練習は当たり前、手品というのは道具を使うものでありますから道具作りは毎回の舞台で欠かせません。僕の得意芸の胡蝶の舞も一枚の半紙から丁寧に下準備していきんですよ。練習は舞台でかけているものはもちろん、手品師の基礎となるものも練習します。所謂カードマジックのテクニックやコインの扱いです。これらはマニピレーションと呼ばれ、腕が鈍らないためにも毎日の練習はかせません。テレビを観ながら、音楽を聴きながらカードやコインを鮮やかに扱ってます。笑

【芸は一日にしてならず、毎日の積み重ね】

実は他にも稽古事は沢山あるんです。和妻師になるためには日本舞踊の素養が必須です。ですから、若い時から計七年間、日舞の稽古に通ってました。

それから長唄三味線も通い、声を作るために新内節の稽古に三年通いました。どれも楽しく稽古ができたことは、これもまた芸人の星を持って生まれてきた人間の運命なのでしょう。ピアノの学習はマジックで音楽を作るためにとっても有意義なものになりましたし、身にならない芸事は一つもありません。マジシャンの舞台

での音楽は出来るだけ個性的な曲を選び、編集作業が必須です。ショーのための音楽制作で気付いたら夜中に・・・なんて日もありますね。

【舞台がある日が本番！楽しいからやめられない】

さて、舞台の日の話に移りましょう。

所謂、僕たち芸人の本当の仕事時間です。朝起きて顔を洗った時から緊張感は欠かせません。一度のステージでエネルギーを多分に使うもの。30分ステージを一度やったら冬場でも汗が漲ります。

忙しい時期は一月。寄席の顔見せ興行の他、様々なイベントに仕事にいきます。中には30分のステージを一日3回こなさないといけない日があったり・・・。3回のステージが終わったら池袋の演芸場に移動してもう一ステージ、なんて日もありました。もうたくたくたで舞台にあって気力も使い果たした一日でした。

これだけ忙しい日常を過ごしておりますが、一度も辞めずに続けていける秘訣はなんて言ってもその道が「好き」ということなのでしょう。

今回もご精読いただき誠にありがとうございました。



美しき和妻いろいろコーナー

“宝箱”

四角い箱型の蒸籠^{せいろう}から品物を取り出す「宝箱」は、手品の代表的な作品。通称「日本蒸籠」とも呼ばれ、その風情が和の雰囲気を実際立たせます。手品は品物を使う芸、手妻は小手先の技を見せる芸と意味が異なります。この宝箱は、瀧之丞の十八番として多くの観客を魅了しています。



日本蒸籠とも呼ばれる和のマジック



やってみようコーナー

“消えるカード?!”

忘年会・新年会で、名刺などでできるマジックです。テクニックが必要ですが、艶やかな技は一見の価値あり。



①カードがあります



②念じます



③カードが空に消えました!

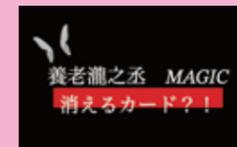


④また出てきました!

身近なもので簡単!マジックの種明かし!



種明かし動画はこちら! ▾



プロフィール 養老 瀧之丞(ようろうたきのじょう)

学生時代に養老派家元の北見マキに師事。初め北見翼を名乗り20歳で浅草演芸ホールにてデビュー。日本古来のマジックに魅了され研究と実演を繰り返し2022年3月に養老瀧之丞に改名。夢はLAに移住し世界で活躍すること。

第14回 税に関する絵はがきコンクール

優秀作品

足立税務署長賞



三田 侑歩さん
弘道小学校

都税事務所長賞



恩田 怜佳さん
千寿本町小学校

足立区長賞



内海 柊也さん
千寿桜小学校

足立区長賞



近藤 つむぎさん
千寿本町小学校

教育長賞



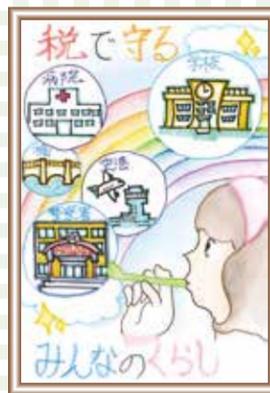
水谷 凜花さん
北三谷小学校

税理士会支部長賞



及川 夏芽さん
北三谷小学校

税理士会支部長賞



于 力琪さん
竹の塚小学校

足立法人会会長賞



林 裕美さん
千寿桜小学校

足立法人会会長賞



梅澤 日和さん
千寿本町小学校

女性部会長賞



徳丸 那南さん
花畑小学校

女性部会長賞



甲斐 歩さん
花保小学校

女性部会

法人会インフォメーション

税に関する絵はがきコンクール表彰

11月13日(水)第14回「税に関する絵はがきコンクール」の表彰式が足立区勤労福祉会館(綾瀬ブルミエ)にて開催されました。

この活動は、租税教育の一環で未来を担う小学生高学年を対象に租税教室が行われた後、学んだ税の知識や感想を「絵はがき」の形で表現することでなお一層理解を深めて頂く事を目標としております。

今年度の足立税務署管内の参加小学校は18校1247名の6年生が素晴らしい作品を作製してくれました。その中から優秀賞11名、入選46名が厳選され、各賞の長の皆さまから賞状と賞品が授与されました。



多くの親御様、学校の先生にお越しいただきました！



表彰式の様子(中央:田淵部会長)

税務署長賞を受賞した足立区立弘道小学校の三田さんの作品は、上部団体である東法連女性部会連絡協議会に提出・選考します。前年度は弘道第一小学校の作品が東京国税局長賞・全法連女連協会長賞を受賞しましたが、今年度もそのような素晴らしい賞を受賞できることを心より願っております。

足立法人会女性部会では、このような絵はがきコンクールの活動に加え、フードロス活動といった社会貢献活動、女性部会同士の交流を目的とした観劇鑑賞会、研修見学会等を実施しております。従業員の方も入部することができますので、是非ご検討の程お願い致します！

(女性部会副部会長 林 厚子)

税務関係表彰

令和6年度 足立税務署長納税表彰式

日時:11月11日(月) 会場:浅草ビューホテル



署長表彰

久保木正仁(株プロスタッフ)様
三浦 啓行(株三浦工務店)様
林 厚子(株ガキプランニング)様

署長感謝状

佐々木保洋(株ワイズホーム)様



令和6年度 税務功労者都税事務所長感謝状贈呈式

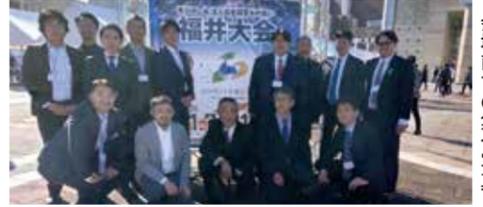
日時:11月19日(火) 会場:東京都足立都税事務所
都税事務所長感謝状 道口 好正(株大洋螺子製作所)様

青年部会 「知識と親睦を深める年に一度の全国大会」

11月7日(木)・8日(金)、日本全国の法人会青年部会員が一堂に会する「第38回法人会全国青年の集い福井大会」がサンドーム福井にて開催されました。当会からは佐々木部会長をはじめとする13名が参加し、2日間にわたる充実したプログラムに参加しました。

初日の7日には、租税教育活動や健康経営に関するプレゼンテーションが行われました。翌8日には、大会のメインイベントである式典、記念講演、部会長サミットが実施されました。この全国大会は、普段から青連協(青年部会連絡協議会)や各県連ブロック単位での活動を通じて交流を深めている他の単位会とも、全国レベルの最新の取り組みを学ぶ特別な機会となっています。

特に印象的だったのは、租税教育活動における各地の取り組みです。地域の大学と連携し、大学生を租税教育の講師として活用する事例や、税に関するオリジナルYouTube動画を作成し普及を図る活動など、画期的な事例が多数紹介されました。これらの取り組みは非常に参考になる内容であり、当会でも今後の活動に積極的に反映させていきたいと考えています。



会場前での集合写真

また、大会記念講演では、フリーアナウンサーの笠井信輔氏を講師に迎えました。自身が血液のがん・悪性リンパ腫(ステージ4)という大病とどのように向き合い、希望を持ち続けながら完治に至ったのかを語られました。生死に関わる重いテーマながらも、笠井氏の軽快な話術によって引き込まれ、時間を忘れるほどでした。この講演を通じて、心身の健康が何よりも大切であることを改めて実感するとともに、青年部会で取り組む健康経営活動の重要性も再確認することができました。

大会終了後には、東尋坊や鯖江といった福井県の名所や特産品に触れる機会もあり、部会員同士の親睦をさらに深めることができました。今回の福井大会で得られた知識と経験を共有し、来年の山梨大会に向けて引き続き活動を頑張っていきたいと考えています。(参加13名 全国青年の集い担当副部会長 渡部 竜二)

青年部会 親睦ゴルフコンペ・年末懇親忘年会



開催日 12月6日(金)
 ゴルフ ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎 25名
 忘年会 Italian Dining Vittoria 北千住 38名

ゴルフコンペ結果
 優勝 小林 新(59・53・G112・N64.0)
 準優勝 古庄 成大(53・48・G101・N69.8)
 第3位 山田 裕章(51・43・G94・N72.4)

税制委員会 「令和7年度税制改正に関する提言活動」

11月29日(金)、税制委員会の相臺秀郎委員長、佐鳥文夫副委員長、須賀崇之副委員長、事務局1名の計4名で「令和7年度税制改正に関する提言活動」を実施いたしました。

税制改正に関する提言活動とは、全国の法人会会員に実施した税制に関するアンケートから意見を集約し、全法連が提言書として取りまとめた内容を、各単位会が地元選出の衆議院議員や地方自治体長などに対して政策としての実現を要望する活動となります。

当会は東京都第13選挙区選出の土田しん衆議院議員と足立区の近藤やよい区長へ令和7年度税制改正に関する提言書を提出いたしました。近藤区長は公務ご多忙につき直接提言書をお渡しすることは叶いませんでしたが、田ヶ谷区民部長に代理で受け取っていただき、今年度の提言内容を含め積極的な意見交換を行うことができました。

なお、提言活動の結果とも言える令和7年度税制改正大綱につきましては、次回の広報誌令和7年3月号に掲載させていただきます。(参加4名 事務局長 橋浦 亮)



足立区への提言活動の様子

土田しん衆議院議員への提言活動の様子

健康を応援する 第128回

『忘れたことを忘れていたら要注意』

～Dr.クラとIさんの健康小話～

葛飾健診センター長
吉原 一郎 先生

- Iさん:** いくら思い出そうと思ってもあの女優さんの名前がでてこない。そろそろ認知症なんではないか～(涙)
- Dr.クラ:** Iさん昨日のお昼ご飯なに食べた?
- Iさん:** 12時ぴったりに食べたんですがなんだっけな……あ～おにぎりサンドイッチと焼きそばでした。
- Dr.クラ:** 炭水化物祭りなのは今回はスルーして(汗)その女優さんの顔や出演しているドラマとか思い出せる?
- Iさん:** はい、ドラマの話題の時にははっきり顔が浮かぶのに名前がでてこないんです。
- Dr.クラ:** ふむふむ、今のところそれは単なる物忘れとして様子を見てよいかね。
- Iさん:** 認知症ではない?
- Dr.クラ:** 現時点ではね。なぜなら昨日、お昼ご飯を食べたことははっきり覚えていたよね。その女優さんの存在ははっきりと覚えているよね。食べたこと自体を覚えていない、その女優さんの存在自体を覚えていないという場合は、認知症を疑う必要があるよ。
- Iさん:** よかった～
- Dr.クラ:** Iさんの場合年齢的な物忘れというかそもそも覚える気がないというか(笑)
- Iさん:** 訴えてやる～(涙)

説明会・研修会等ご案内

〈月例研修会〉◎法人税を学ぶセミナー

開催日	時間	会場	テーマ
2025年1月14日(火)	10:00～12:00	足立法人会館 3階会議室	税金対策 (税の落とし穴)
2025年1月15日(水)	13:30～15:30		
2025年2月13日(木)	10:00～12:00		法人税の計算 (別表作成①)
2025年2月14日(金)	13:30～15:30		
2025年3月10日(月)	10:00～12:00		法人税の計算 (別表作成②)
2025年3月11日(火)	13:30～15:30		

月例研修会参加費無料(初回のみ、テキスト代として会員2,000円、一般参加者3,000円の負担あり)

〈決算法人説明会〉◎決算を前にした会社のために

開催日	時間	会場	対象
2025年2月5日(水)	13:30～15:30	足立法人会館3階	1・2月決算法人
2025年3月14日(金)		足立区勤労福祉会館	3月決算法人

〈新設法人説明会〉◎新しく会社を設立した方は

開催日	時間	会場	対象
2025年2月6日(木)	13:30～16:00	足立法人会館3階	新設法人

※足立法人会館 3階会議室 住所: 足立区千住中居町25-7 TEL.03-3881-0326

※足立区勤労福祉会館(綾瀬プルミエ) 住所: 足立区綾瀬1-34-7-102 TEL.03-3838-3581

1月のテーマ「新記録」に多数のお申し込み有り難うございました。広報委員会・選者で厳選した結果、以下の5作品に決まりました。次回も奮ってご参加下さい。

やりました 三日坊主が 一週間 (ろくでなし)

禁酒・禁煙のほか、思い立って始めたのが何であれ、三日・一週間つづけば後は一ヶ月・半年はアツという間です。三日坊主の汚名返上です。

パパヤバイ 新記録だね そのおなか (雪中花)

奥さんに気付かれたうちに、治すことです。今、貴方は何を食べても旨いのだと思います。でもこの記録マイナス点ですヨ。

毎日を 生きてるだけで 新記録 (ハギャレン)

長寿社会に巡り合せて、皆さんで記録更新中と云って良いでしょう。生きてるだけと云わず、前向きに考えて頑張りましょう。

マンガより マンガみたいな 新記録 (夕方世代)

自分自身で考えた記録を目指しているのでしょうか。マンガ的でもそれが人間の生甲斐ともいえるのです。マンガ大いに結構！

一週間 妻と冷戦 新記録 (丘の下)

夫婦の冷戦状態は、二週間が記録の限界でしょう。この記録は夫の方が早々に妥協するのが懸命だと思います。好機逸すべからず。

『総評』

「記録は破られるためにある」といわれます。競技記録などでは一定の目標としてそれを超える新記録が、常に期待されるからです。これは、日常生活の様々な局面でも同じように適用されているのです。禁酒禁煙も早寝早起きも、同じことです。記録を超えるたびに健やかな達成感が得られるのは、楽しく愉快なことであり、人生の生甲斐でもあります。

枚数 幾たび挑む 新記録 (藤袴)

3月号のテーマ

【税】

「川柳」は、五・七・五のリズムで詠む口語の定型詩です。口語以外の言葉を用いることもあります。俳句と違い、季語を用いる必要はありません。テーマの言葉を入れる必要ありません。

お一人様、二句まで、ハガキ又は、FAXで投句

※句掲載の方には、クオカード(一、〇〇〇円分)を差し上げます。

締切 一月三十一日(金)まで

投句先 〒二二〇〇三五

足立区千住中居町二十五―七
FAX 三八七九―三五四〇
(公社)足立法人会 川柳係へ
お寄せください。

〈選者・コメンテーター紹介〉

秋庭 隆(あきば・たかし)

戦後18年間、足立区に居住。現在、「東海道ネットワークの会21」顧問(藤沢市在住)。

あ と が き

去年は、元日の能登半島地震、パリオリンピック・パラリンピック、衆議院議員総選挙など心揺さぶられる出来事がたくさんありました。

今年は安心・安全で平穏な年になりますよう、心から願っております。

(関山広報委員)

公益社団法人
足立法人会報
第293号 (通巻355)
令和7年1月1日発行
発行所
公益社団法人 足立法人会
足立区千住中居町25-7
電話 (3881) 0326
メールアドレス
koueki@adachi-houjinkai.or.jp
編集人
広報委員会